

4 経営成績（損益計算書）について

(1) 経営成績の概括

損益計算書に示される経営成績は、次のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分	平成21年度		平成20年度		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増 減 率
総収益	4,585,434	100	4,587,455	100	△ 2,021	△ 0.0
総費用	3,930,144	100	3,974,383	100	△ 44,239	△ 1.1
(経常損益)						
経常収益	4,583,968	100.0	4,586,311	100.0	△ 2,343	△ 0.1
営業収益	4,571,056	99.7	4,562,759	99.5	8,297	0.2
営業外収益	12,912	0.3	23,552	0.5	△ 10,640	△ 45.2
経常費用	3,920,571	99.8	3,957,921	99.6	△ 37,350	△ 0.9
営業費用	3,705,843	94.3	3,663,452	92.2	42,391	1.2
営業外費用	214,728	5.5	294,469	7.4	△ 79,741	△ 27.1
(特別損益)						
特別利益	1,466	0.0	1,144	0.0	322	28.1
特別損失	9,573	0.2	16,462	0.4	△ 6,889	△ 41.8
当年度純利益	655,290	-	613,072	-	42,218	6.9
前年度繰越利益剰余金等	132,090	-	119,018	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	787,380	-	732,090	-	-	-

総収益が減少（前年度比）している主な理由

営業外収益における貸付金利息などの減少による受取利息の減少や、同じく営業外収益における雑収益の減少などによるものである。

総費用が減少（前年度比）している主な理由

営業外費用における高金利企業債の借換え効果による支払利息（企業債利息）の減少及び特別損失における過年度損益修正損の減少などによるものである。

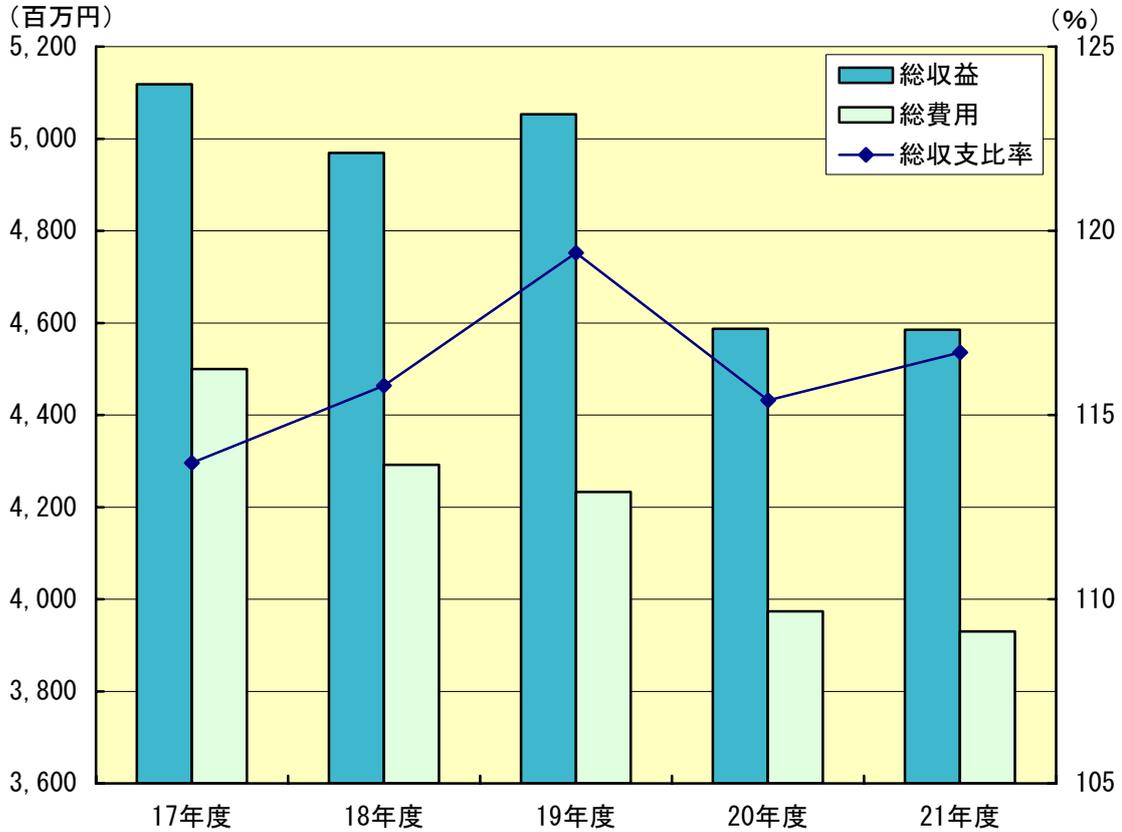
経営成績の過去3年間の傾向

審査資料「水道事業年次表（損益計算書）」で見ると、営業収益、営業費用ともに前年度の減少に対し、若干ではあるが本年度は増加した。営業外収益は減少しており、特別利益は増加した。営業外費用、特別損失ともに前年度に引き続き減少した。

(2) 経営収支

総収益及び総費用は、次表のとおりである。

総収益・総費用・総収支比率の推移



(単位：千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総 収 益 A	5,117,853	4,968,911	5,053,317	4,587,455	4,585,434
対前年度比増減率	8.8	△ 2.9	1.7	△ 9.2	△ 0.0
総 費 用 B	4,500,210	4,292,329	4,233,091	3,974,383	3,930,144
対前年度比増減率	1.8	△ 4.6	△ 1.4	△ 6.1	△ 1.1
純 利 益 A-B	617,643	676,582	820,226	613,072	655,290
対前年度比増減率	119.7	9.5	21.2	△ 25.3	6.9
総 収 支 比 率	113.7	115.8	119.4	115.4	116.7

総収益は、前年度に引き続き、本年度もわずかに減少した。

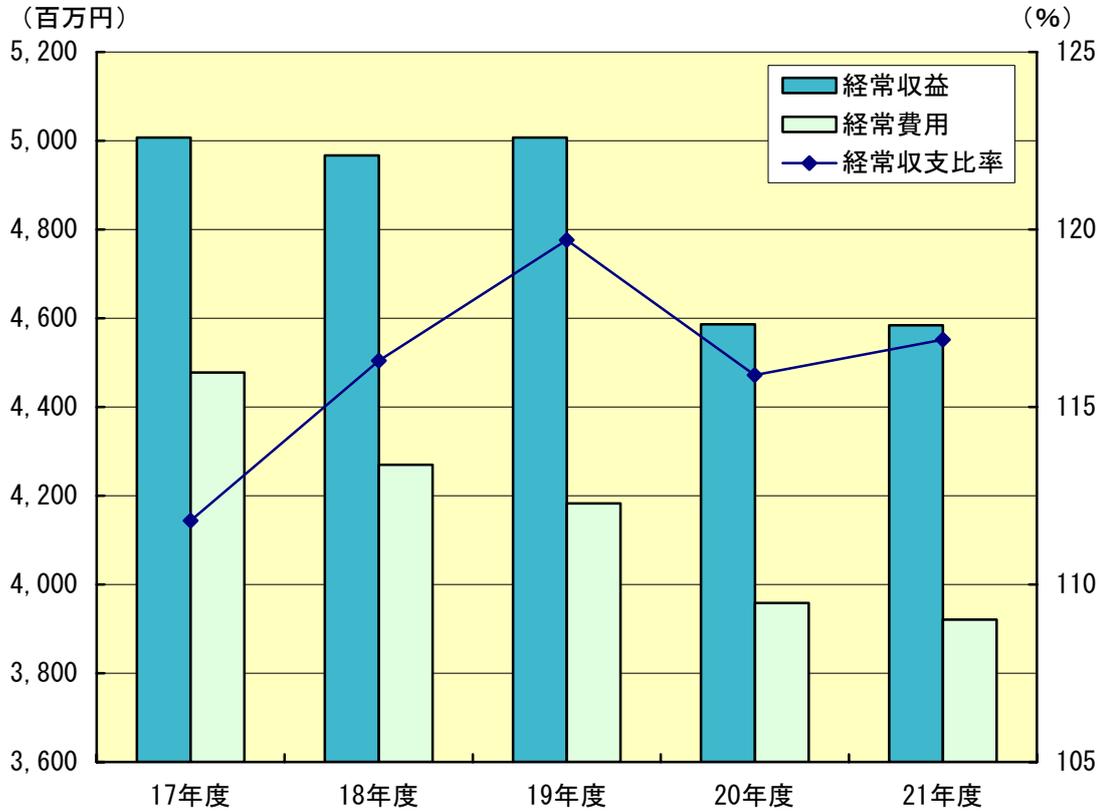
総費用は、平成17年度まで増加していたが、18年度以降は減少している。

総収支比率は、平成17年度から19年度までは上昇し、前年度は低下していたが、本年度は再び上昇した。

(3) 経常収支

経常収益及び経常費用は、次表のとおりである。

経常収益・経常費用・経常収支比率の推移



(単位：千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
経常収益 A	5,006,578	4,967,440	5,006,893	4,586,311	4,583,968
対前年度比増減率	6.5	△ 0.8	0.8	△ 8.4	△ 0.1
経常費用 B	4,478,499	4,270,677	4,182,556	3,957,921	3,920,571
対前年度比増減率	2.0	△ 4.6	△ 2.1	△ 5.4	△ 0.9
経常利益 A-B	528,079	696,763	824,337	628,390	663,397
対前年度比増減率	69.2	31.9	18.3	△ 23.8	5.6
経常収支比率	111.8	116.3	119.7	115.9	116.9

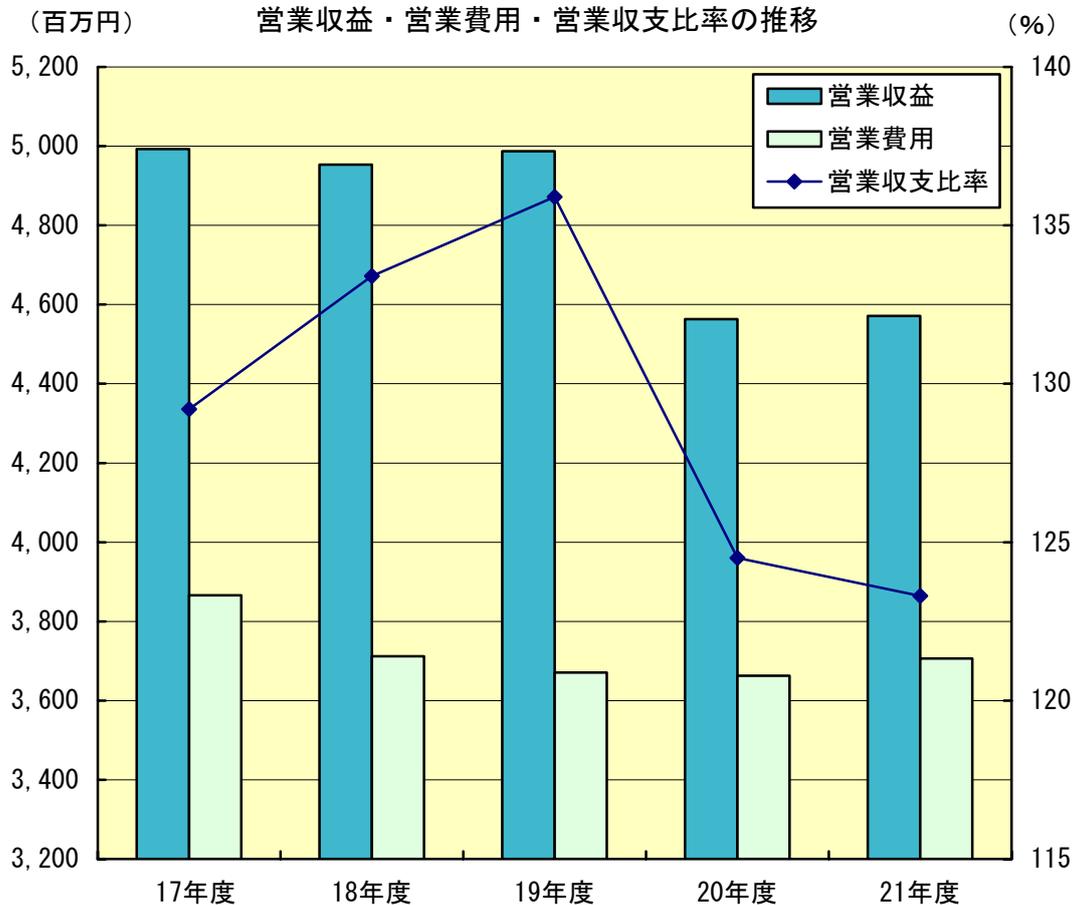
経常収益は、前年度に引き続き、本年度もわずかに減少した。

経常費用は、平成17年度まで増加していたが、平成18年度以降は減少している。

経常収支比率は、平成19年度までは上昇し、前年度は低下していたが、本年度は再び上昇した。

(4) 営業収支

営業収益及び営業費用は、次表のとおりである。



(単位：千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
営業収益 A	4,993,113	4,953,010	4,986,785	4,562,759	4,571,056
対前年度比増減率	6.4	△ 0.8	0.7	△ 8.5	0.2
営業費用 B	3,865,755	3,711,605	3,670,540	3,663,452	3,705,843
対前年度比増減率	3.0	△ 4.0	△ 1.1	△ 0.2	1.2
営業利益 A-B	1,127,358	1,241,405	1,316,245	899,307	865,213
対前年度比増減率	19.9	10.1	6.0	△ 31.7	△ 3.8
営業収支比率	129.2	133.4	135.9	124.5	123.3

(備考) 営業収支比率は、営業収益からは受託工事収益を、営業費用からは受託工事費をそれぞれ除いた数値を用いて算出している。

営業収益は、近年は増減を繰り返しており、本年度は若干増加した。

営業費用は、平成18年度以降は減少していたが、本年度は若干増加している。

営業収支比率は、前年度に引き続き、本年度も低下した。

営業収益の増減

総収益に対する割合は 99.7%で、前年度の営業収益と比較して 0.2%の増加となっている。

項目別にみると、給水収益（水道料金）は、前年度と比較して 0.1%の増加となっており、総収益に対する割合は 97.6%である。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・事務受託収益	7,443 千円	・手数料	△5,004 千円
・水道料金	3,701 千円		
・雑収益	2,157 千円		

営業費用の増減

総費用に対する割合は 94.3%で、前年度の営業費用と比較して 1.2%の増加となっている。項目別にみると、次のとおりである。

原水及び浄水費

総費用に対する割合は 31.0%で、前年度の原水及び浄水費と比較して 1.1%の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・負担金	10,212 千円	・修繕費	△24,742 千円
・薬品費	8,677 千円	・動力費	△8,061 千円
・職員給与費	2,885 千円	・雑給	△1,306 千円

配水及び給水費

総費用に対する割合は 14.4%で、前年度の配水及び給水費と比較して 6.1%の増加となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・修繕費	58,883 千円	・職員給与費	△52,746 千円
・雑給	18,673 千円	・動力費	△2,791 千円
・委託料	10,124 千円	・負担金	△2,069 千円
・賃借料	1,958 千円	・備消耗品費	△1,108 千円

受託工事費

貯蔵品の出庫に伴い発生した費用であり、前年度はない。（実績額 1 千円）

業務費

総費用に対する割合は 9.8%で、前年度の業務費と比較して 6.1%の増加となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・委託料	19,877 千円	・賃借料	△10,867 千円
・職員給与費	16,347 千円	・雑給	△2,926 千円
・通信費	1,077 千円	・印刷製本費	△1,562 千円

総係費

総費用に対する割合は 8.8%で、前年度の総係費と比較してごくわずか (0.03%) の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・雑給	4,715 千円	・委託料	△4,991 千円
・職員給与費	1,609 千円	・負担金	△3,006 千円
・修繕費	1,355 千円	・旅費	△1,471 千円
・賃借料	1,151 千円	・ガス料	△1,072 千円
・広告費	1,071 千円		

減価償却費

総費用に対する割合は 27.8%で、前年度の減価償却費と比較して 2.2%の増加となっている。

【増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・有形固定資産減価償却費	25,857 千円	・無形固定資産減価償却費	△2,515 千円

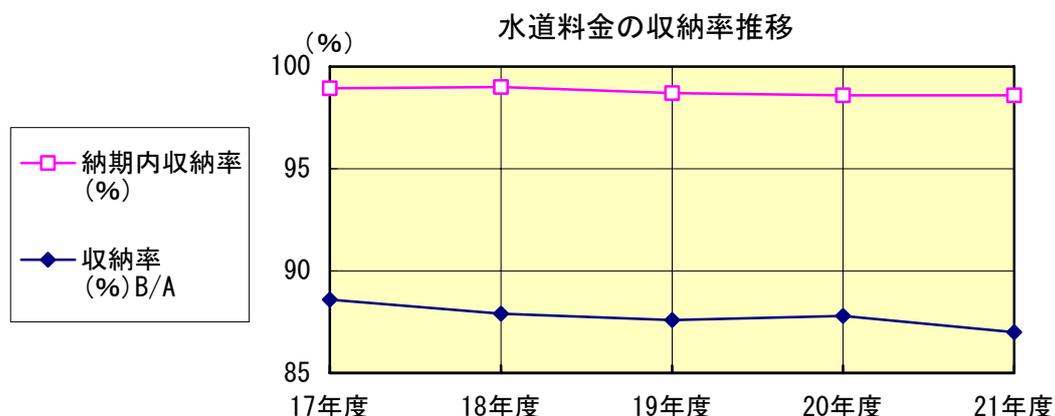
資産減耗費

総費用に対する割合は 2.5%で、前年度の資産減耗費と比較して 17.7%の減少となっている。

【増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・なし		・固定資産除却費	△21,421 千円

なお、水道料金の収納状況は、次表のとおりである。



現年度分 (単位:千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
調定額 A	5,146,964	5,106,076	5,143,217	4,694,482	4,698,986
収入額 B	4,560,335	4,488,307	4,502,942	4,121,373	4,086,522
未収額 A-B	586,629	617,769	640,275	573,109	612,464
収納率 B/A	88.6	87.9	87.6	87.8	87.0
対前年度比較増減	△ 0.0	△ 0.7	△ 0.3	0.2	△ 0.8
納期内収納率(参考)	98.9	99.0	98.7	98.6	98.6
対前年度比較増減	0.0	0.1	△ 0.3	△ 0.1	0.0

(備考)

- 1 各金額には、本年度の過年度損益修正益を含む。
- 2 未収額には、納期未到来分を含む。
- 3 納期内収納率は、「3 予算の執行状況 (1)イ 収益的収入の予算執行の主な内容等」に掲載しているものを、参考として示している。

過年度分 (単位:千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
調定額 a	626,247	644,086	666,596	641,762	581,945
収入額 b	546,629	575,401	608,039	623,686	565,615
不納欠損額 c	16,693	15,244	47,726	6,514	7,069
未収額 a-b-c	62,925	53,441	10,831	11,562	9,261
収納率 b/a	87.3	89.3	91.2	97.2	97.2
対前年度比較増減	1.7	2.0	1.9	6.0	0.0

(備考)

調定額(前年度からの繰越額)は、前年度の現年度分未収額及び過年度分未収額の合計から、本年度の過年度損益修正損(過年度料金調定減額)を差し引いた額である。

(5) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益及び営業外費用は、次表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
営業外収益 A	13,465	14,430	20,108	23,552	12,912
対前年度比増減率	43.8	7.2	39.3	17.1	△ 45.2
営業外費用 B	612,744	559,072	512,016	294,469	214,728
対前年度比増減率	△ 3.8	△ 8.8	△ 8.4	△ 42.5	△ 27.1
差引収支 A-B	△ 599,279	△ 544,642	△ 491,908	△ 270,917	△ 201,816
対前年度比増減率	4.5	9.1	9.7	44.9	25.5

営業外収益の増減

総収益に対する割合は 0.3%で、前年度の営業外収益と比較して 45.2%の減少となっている。

【増減費目】

[増 加 分]

・ 有価証券利息 266 千円

[減 少 分]

・ 貸付金利息 △5,664 千円
・ 預金利息 △2,837 千円
・ 雑収益 △2,405 千円

営業外費用の増減

総費用に対する割合は 5.5%で、前年度の営業外費用と比較して 27.1%の減少となっている。

【増減費目】

[増 加 分]

・ 雑支出 829 千円

[減 少 分]

・ 企業債利息 △80,570 千円

(6) 特別利益及び特別損失

特別利益及び特別損失は、次表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
特別利益 A	111,275	1,471	46,424	1,144	1,466
対前年度比増減率	6,332.1	△ 98.7	3,055.9	△ 97.5	28.1
特別損失 B	21,711	21,652	50,535	16,462	9,573
対前年度比増減率	△ 33.9	△ 0.3	133.4	△ 67.4	△ 41.8
差引収支 A-B	89,564	△ 20,181	△ 4,111	△ 15,318	△ 8,107
対前年度比増減率	388.0	△ 122.5	79.6	△ 272.6	47.1

特別利益の増減

総収益に対する割合はごくわずか(0.03%)で、前年度の特別利益と比較して28.1%の増加となっている。

【増減費目】

[増加分]

・過年度損益修正益 348千円

[減少分]

・固定資産売却益 △26千円

特別損失の増減

総費用に対する割合は0.2%で、前年度の特別損失と比較して41.8%の減少となっている。

【増減費目】

[増加分]

・なし

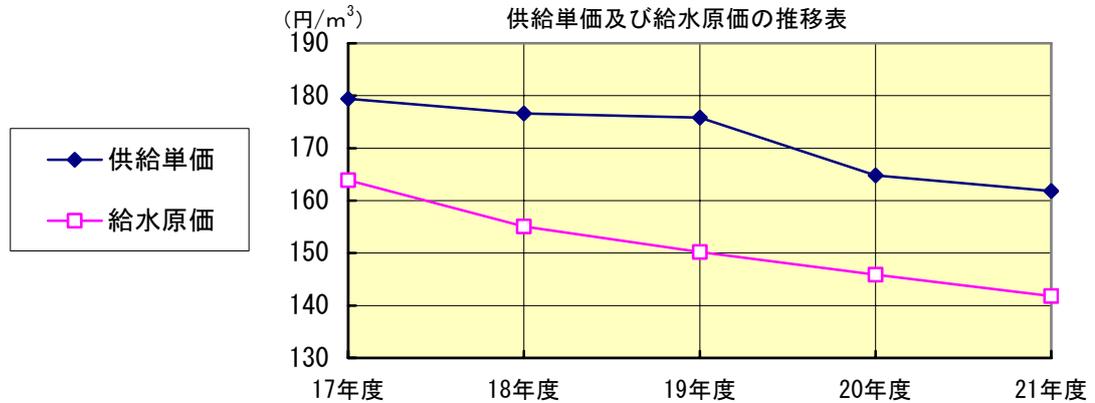
[減少分]

・過年度損益修正損 △5,844千円

・固定資産売却損 △1,045千円

(7) 供給単価・給水原価

有収水量 1m³当たりの供給単価及び給水原価は、次表のとおりである。



(単位:円/m³)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
供給単価 A	179.4	176.6	175.8	164.8	161.8
給水原価 B	163.9	155.1	150.2	145.9	141.8
受水費	25.3	25.1	24.1	24.7	24.2
人件費	41.4	36.5	33.5	31.3	29.5
減価償却費	36.0	36.6	36.7	39.3	39.4
企業債利息	22.3	20.3	18.3	10.8	7.7
その他経費	38.9	36.7	37.6	39.8	40.9
利 益 A - B	15.5	21.5	25.6	18.9	20.0

(備考)

- 1 供給単価 = 給水収益/年間有収水量
- 2 給水原価 = { 経常経費 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価) } / 年間有収水量
- 3 利 益 = 供給単価 - 給水原価

供給単価

高いほど 1 m³当たりの収益が多いことを示しており、近年は引き続き低下している。

給水原価

低いほど 1 m³当たりの経費が少ないことを示しており、近年は引き続き低下している。また、給水原価内訳のうち、受水費は小幅に上昇と低下を繰り返している。人件費及び企業債利息は、近年は引き続き低下している。減価償却費は 18 年度以降ゆるやかに上昇している。その他経費は平成 18 年度までは低下したが、19 年度から上昇している。

利 益

平成 20 年度は低下していたが、本年度は上昇している。